

## 【 部門目標・評価 】

### 目 標

#### 1 医療安全文化を醸成するために事例検討会や研修参加率を上げる。

##### 1) 院内の医療安全管理委員会の参加促進

【目標1】 初期研修医師の参加 8回以上／年 （義務付ける）

【目標2】 毎回の参加人数 委員会メンバーの参加率 60%以上

【目標3】 委員会メンバー以外の事例検討時の参加人数 毎回20人程度

※方法として、委員会開始時間を16時15分とし、事例検討は16時30分からとする。

また、事例にあがった部署は業務に支障がないよう留意し、多くの参加を求める。

##### 2) 全体研修受講率100%

【目標】 ○講師を招いての研修会 1時間程度 2回開催（6月 10月の予定）

第1回 患者・家族との良い関係を築くコミュニケーション

第2回 患者さんと共にすすめる医療安全

○千葉県警よくし隊レディー「あおぼーし」による護身術の演習

（6月又は7月に、1日2回講演を予定）

※以上3回の研修を受講できない職員へのフォローアップ目的で今年度からeラーニングを導入する。

※受講科目は医療安全室で選定し、外部講師による研修、またはeラーニングによる研修で全体研修受講とする。

##### 3) M&Mカンファレンスの参加促進

【目標】 参加人数70人／回 初期研修医の参加率100%

#### 2 各部門における事例検討を主体的に促進する。

【目標】 安全分科会のメンバーに自部署でのインシデント分析を実施してもらう。

メンバーだけで困難な場合は、SMまたは医療安全室が支援する。目標は、各部署で最低1例

### 評 価

- ・初期研修医師の参加は、平均8回／年11回中（72.7%）だった。
- ・医療安全委員会の委員参加率 54.2%／月で達成できていない。医師の統括部長・部長は、検査や手術などで参加出来ないことが多い。全ての診療科の統括部長の参加は今後も難しいため委員の任命について吟味する必要がある。
- ・委員以外の事例検討参加人数 27人／月

- ・全体研修の受講率は、１００％で達成した。しかし、進捗管理をする中では、１２月末時点で受講率は良いとは言えず、２月～３月にかけて、未受講者に対して何度もメールを送信し、３月２１日をもってようやく１００％に到達した。
- ・M&Mカンファレンスは、２回開催　うち１回は、外部から先生を招いて行った。  
参加人数　１回目　８９人　　２回目　７１人　で目標を達成した。
- ・各部署で事例分析（RCA 等）を行ったという旨の報告はあるものの、内容まで深く介入することはできなかった。医療安全文化の醸成が進んでいる部署とそうでない部署との違いがあることは把握できた。

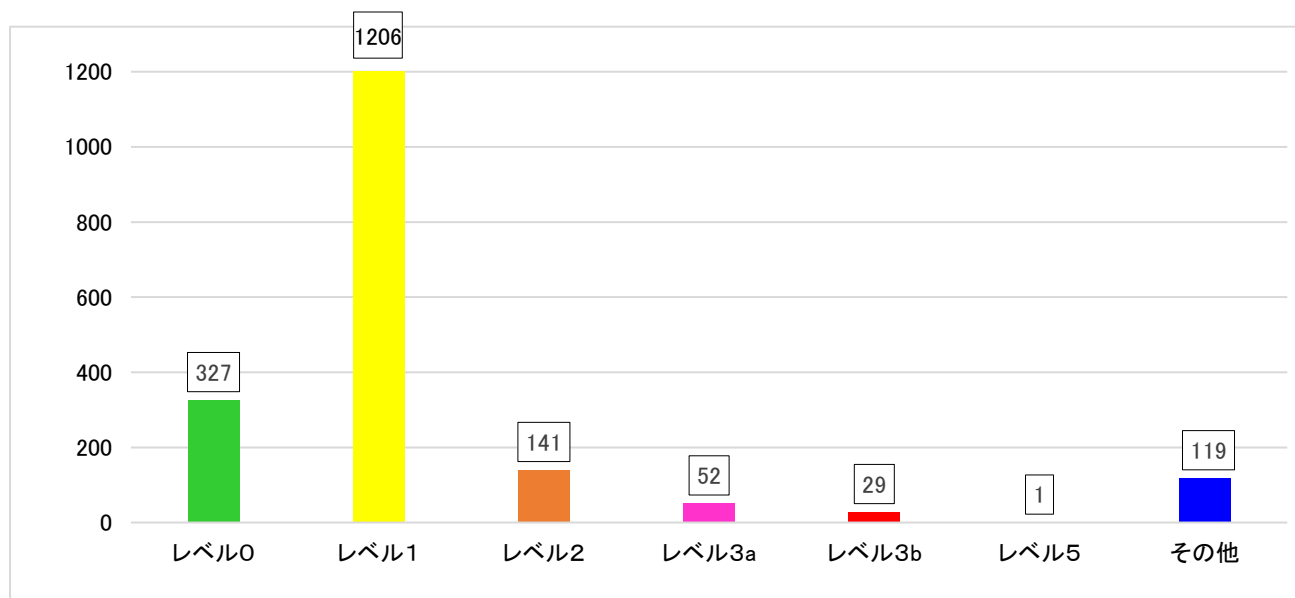
## 【 業務体制・スタッフ 】

役職名等	氏名	医療安全・感染管理 マネジメントに関する資格等	業 務
医療安全室長	須田 峰子	医療安全管理者 認定看護管理者	・ 院内の医療安全管理体制の構築及び推進 ・ 医療安全室の専従職員の労務管理 人材育成
医療安全担当 副院長	金澤 正樹	医療安全管理者	・ 院内の医療安全管理体制の構築・推進 ・ 医師を対象とした医療安全管理の啓蒙 指導 ・ M&M カンファレンスの企画・運営
副医療安全室長 （専従）	窪田 眞弓	医療安全管理者 感染管理認定看護師	・ 医療安全対策の体制確保のための各部門 との調整 ・ 医療安全対策に係る体制を確保するた めの職員研修の企画・実施・評価 ・ 重大な事故発生時の院内の組織的な対応 ・ 訴訟等に関する弁護士・保険会社との調整
医療対話推進者 〈専従〉	牧野 巧	医療対話推進者 医療安全管理者	・ 患者や家族からの苦情および相談・暴言 暴力対応に関する研修の企画・運営
医薬品安全 管理責任者	小原 義巳	医療安全管理者 医薬品安全管理責任 者	・ 医薬品安全使用のための研修の企画・運営 ・ 医薬品安全使用のために必要となる情報 の収集及び院内周知
医療機器安全 管理責任者	坂本 亮太	臨床工学士	・ 医療機器安全使用のための研修の企画 運営 ・ 医療機器の保守点検の適切な実施につ いての監査及び指導・情報収集及び周知
保安対策員 （嘱託）	中村 進	警察 OB	・ 暴言暴力対応
医療安全担当 事務	木原 大輔		・ 医療安全に関する会議・研修会の庶務

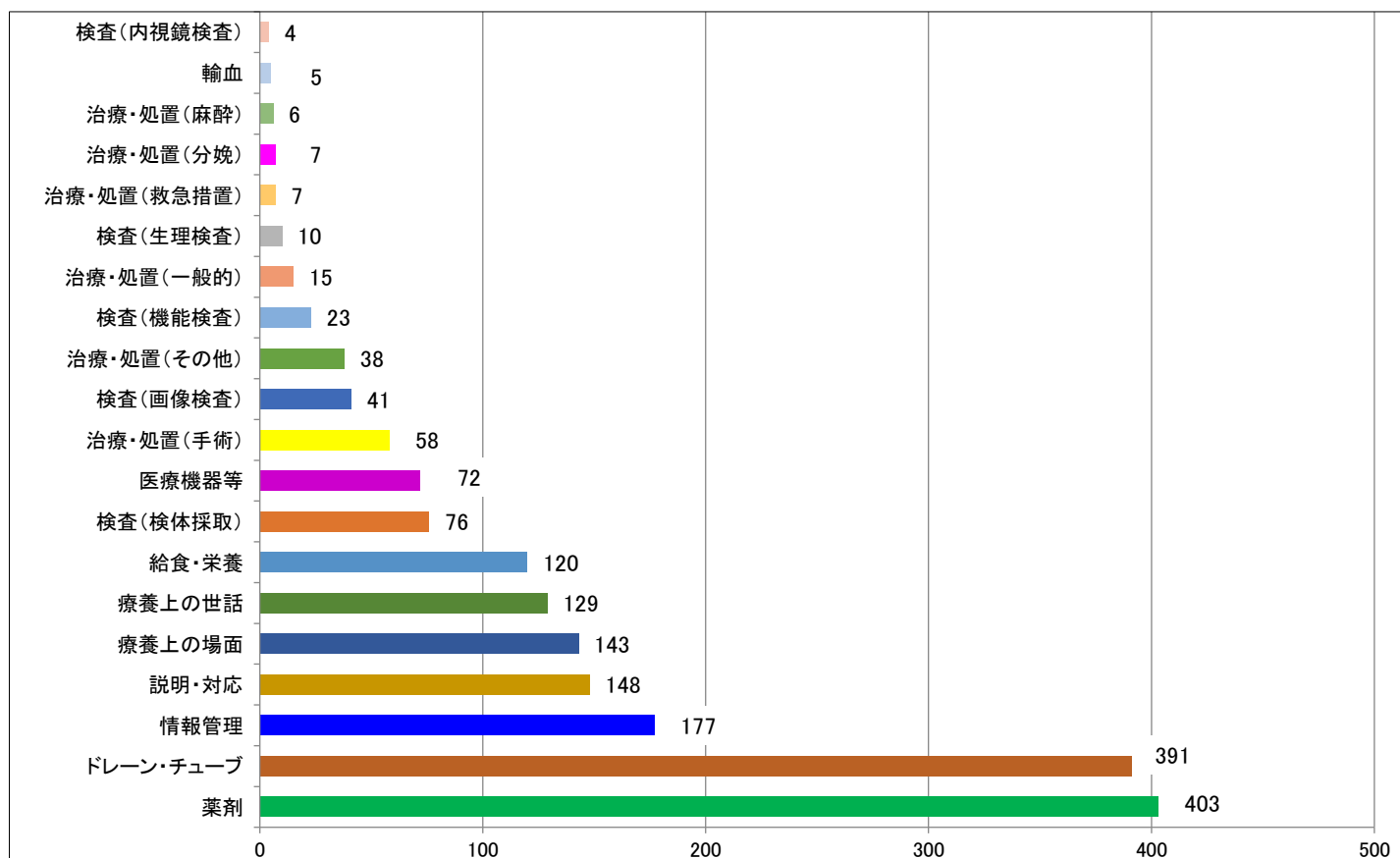
## 【業務実績】

### 〈医療安全〉

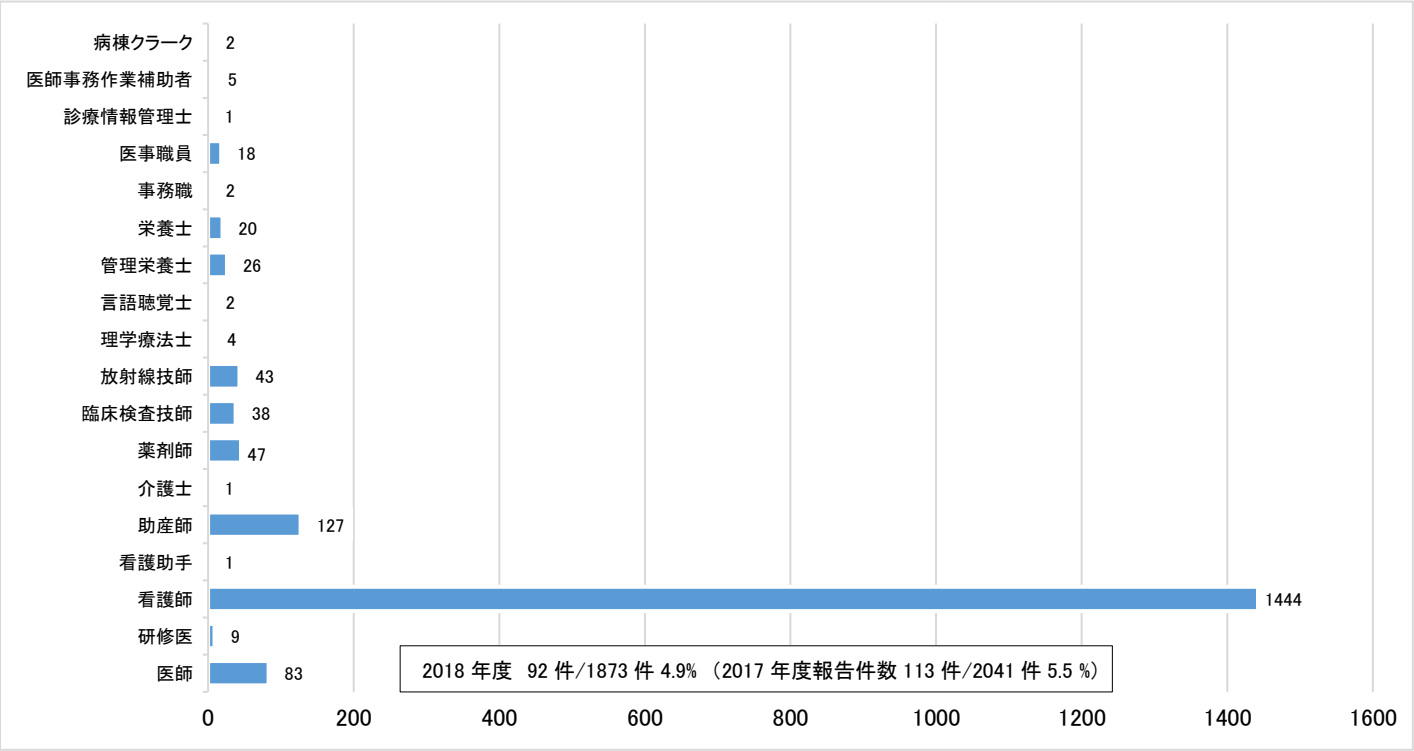
1. 報告総数：1873 件	インシデント（レベル 3 a 以下）	1724 件
	アクシデント（レベル 3 b 以上）	30 件
	その他（暴言・暴力、苦情、レベル不明など）	119 件



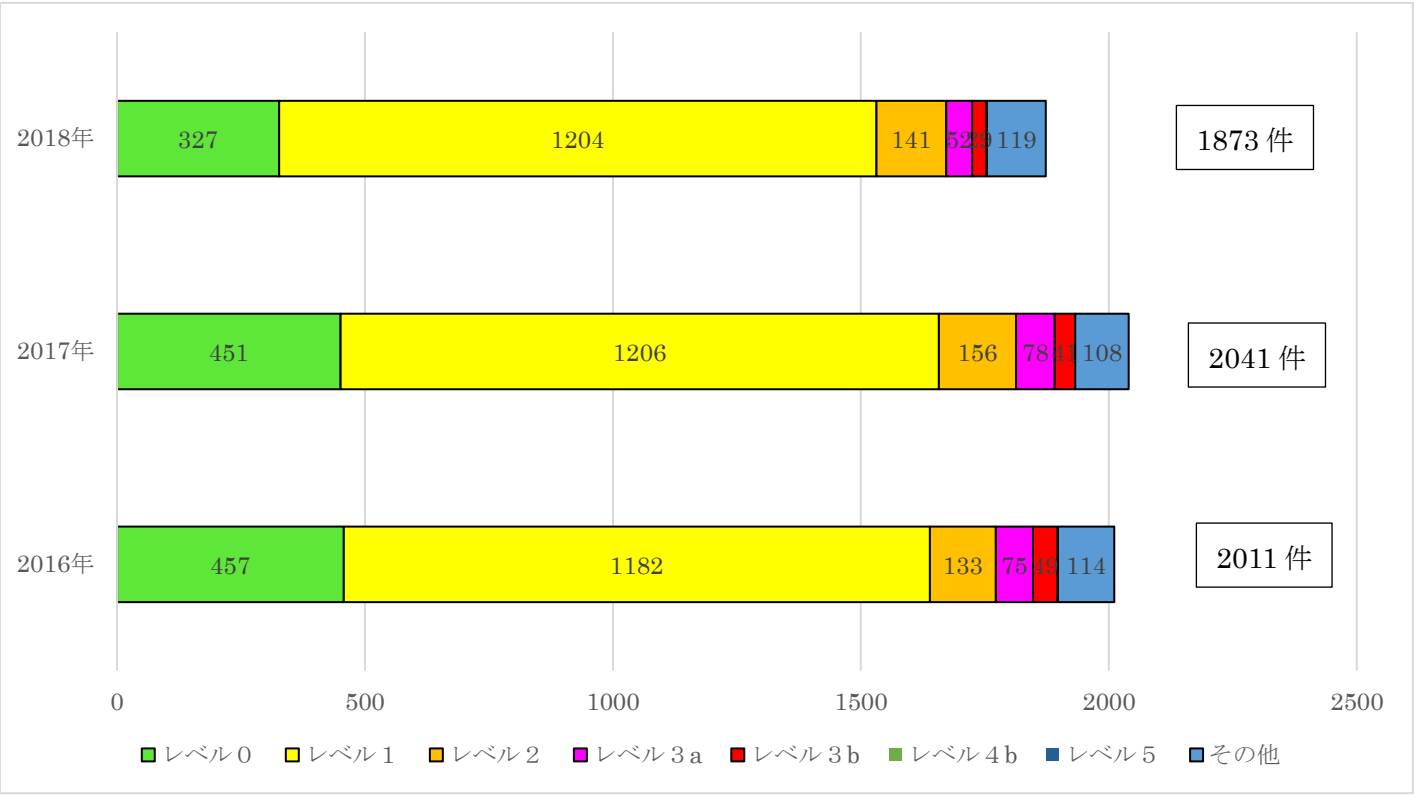
### 2. 報告内容別件数



3. 報告者別件数



4. レベル別報告数 年度別推移



## 【平成30年度 医療安全研修】

分類	テーマ	内容	開催月	対象者	受講者数
必須研修	第1回 医療安全研修会	患者・家族とのよい関係を築くコミュニケーション	6月	全体	110人
	第2回 医療安全研修会	患者さんと共にすすめる医療安全	10月	全体	148人
	未受講者フォローアップ	研修会のビデオ視聴 eラーニングによる受講	通年	全体	受講率 100%
任意研修	暴言・暴力対応研修	よくし隊レディ「あおぼーし」による防犯・護身術	7月	全体	161人
	暴言・暴力対応研修	当院における暴言・暴力事例から学ぶ対応	7月	全体	115人
	苦情対応研修	初期対応・患者クレーム・不当要求への対応	1月	全体	117人
医療安全 教育	新採用者オリエンテーション	医療安全の基本的な考え方	4月	新採用者	25人
	医療安全ステップ1	先輩看護師体験談(夜勤開始前)	6月	新人看護師	17人
	危険予知トレーニング	KYT の実際	6月	看護師	17人
	ヒューマンエラー	ヒューマンエラーとヒューマンファクター	11月	看護師	21人
医療機器	輸液ポンプ・シリンジポンプ	使用方法	4月	新採用者	24人
医薬品	第1回 医薬品の安全使用講習会	ハイリスク薬剤の取り扱い	6月	全体	32人
	第2回 医薬品の安全使用講習会	新規採用薬品の使用上の注意事項	2月	全体	20人
その他	心肺蘇生研修	BLS	随時	全体	167人

## 【平成30年度 資格取得・更新研修受講】

受講研修	職種	取得人数	更新
医療安全管理者	看護師	2名	1名
	医師	1名	1名
	臨床検査技師	1名	
医療対話推進者	看護師	4名	

## 【1年間の総括】

平成30年度の医療安全への取り組みは、平成29年度に引き続き職種間の連携を深め、コミュニケーションエラーを防ぐことに力を注ぎました。新採用者研修で TeamSTEPS を取り入れ、また、毎月行われる医療安全委員会の事例検討では、“互いに気持ち良く声かけ、確認し合えることで医療事故を防ぐことができる”ことを主眼に事例を選択しました。風通しの良い職場風土は、医療安全に欠かすことができない大切な要素の一つであり、今後も継続していきたいと思っています。

医療安全研修の受講率は、100%達成しましたが、次年度は、その必要性についても職員1人ひとりが理解し、進んで研修参加やeラーニングでの学習が行えるよう取り組みたいと思います。

また、今年度からは医療安全対策地域連携加算1を取得し、千葉県救急医療センターや稲毛病院と連携し、医療安全について相互チェックを行うことで客観的に自施設の医療安全対策について再認識することができました。